



# 防災士よこはま

日本防災士会横浜支部通信

第4号 NO. 004

日本防災士会横浜支部  
支部長 今井 淳  
事務局長 早乙女善彦

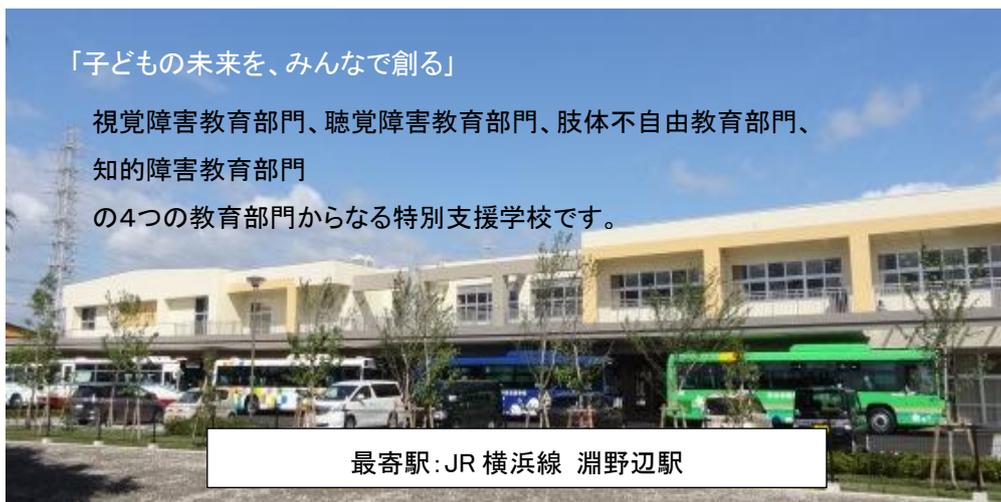
発行日 2015年12月25日

## 平成27年度「相模原中央支援学校防災研修」参加報告

今回の防災研修は、職員対象に計画されたものですが、福祉避難所となったことを想定して地域の方々と防災意識を高めるよい機会として関係諸機関の皆様にも呼びかけが行なわれ、200名を超える参加者でした。「本校の防災用の備品等を確認し、実際に触れることで災害時に活用できるようにする。福祉避難所を想定して実際にパーテーション等を設置し、防災士の話を聞いたり体験したりすることで避難所運営について考える機会とする。地域の方と一緒に防災意識を高める。実際の災害時に適切な対応がとれるようにシミュレーションする。」といったことを目的に実施されました。横浜支部に防災研修の協力依頼があり、避難所に関する情報提供を行なうために「避難所の実際」の写真パネル等を用意して研修に参加しましたのでご報告いたします。

日 時 2015年(平成27年)12月21日(月) 13:00~14:30

会 場 神奈川県立相模原中央支援学校 相模原市中央区高根1丁目5-36 TEL 042-768-8510



「子どもの未来を、みんなで創る」

視覚障害教育部門、聴覚障害教育部門、肢体不自由教育部門、  
知的障害教育部門  
の4つの教育部門からなる特別支援学校です。

最寄駅: JR 横浜線 淵野辺駅

参加者 212名(防災士の5名を含む)

本校職員、相模原市障害政策課、相模原市地域福祉課、近隣の自治体、民生委員、社会福祉協議会ボランティアセンター、他の福祉避難所(事業所、学校)、相模原消防署緑が丘分署、河本総合防災(株)、防災士(今井淳支部長、玉江牧雄、長沼重雄、乾英昭、越智幸美)

研修内容 体育館を中心に各ブースをセッティングしてスタンプラリー方式で見学や体験をする。

1) 避難所で使用するパーテーションや仮設トイレの展示

- ・被災時に使用する予定のパーテーションや仮設トイレを体育館に展示して、実際に体験してみる。  
防災士(横浜支部)の方から防災に関することや避難所の資料等をもとに話を聞く。

2) 防災関係の業者による防災グッズの展示

- ・防災グッズを展示して、実際に触れるなどしてみる。個人的に購入の手続きも可能。

3) 消防署員による水消火器で消火体験

- ・消防署員の助言のもと消火体験をする。

4) 本校に備蓄している防災関係の備品の展示と体験

- ・本校にある防災用品の展示やエンジンをかけた発電機で供給した電気につけたテレビや灯光器の見

学・体験をする。災害用トイレ(凝固剤付き)を実際にトイレにセットする体験をする。

#### 5) 備蓄してある部屋の見学(職員のみの見学)

・本校の備蓄品が保管してある6か所の部屋を実際に見て回る



#### 評価・感想

避難所シミュレーションブースに係る職員の感想(アンケート結果より)

- ・避難所ブースで実際に体験ができて有意義だった。職員の入れ替えもあるので毎年取り組めるとよい。
- ・防災士の方の話が伺えて大変、有意義だった。
- ・実際に見て触って体験できて良かった。
- ・防災に対する心構えができて良かった。
- ・面白かった。
- ・避難所生活のイメージが持てた。
- ・避難所の作り方がためになった。
- ・お話が胸に響いた。
- ・話だけでなく体験できたことが良かった。
- ・家庭の防災用品について考えさせられた。トイレ、テント購入検討する。
- ・初めて知ったことが多くあり勉強になった。
- ・避難所についてわかりやすい資料が用意されており勉強になった。
- ・水のいない歯磨きがあることを初めて知って勉強になった。
- ・実際にボランティア等で経験された方々のお話はリアル感があり有益だった。

#### 地域の方々

- ・防災士という資格が存在するのを知ったのが有意義だった。

## 防災士の率直な評価・感想

- ・主催者及び参加者が相模原市だったので、横浜流儀をそのまま押し付けることにはいささか遠慮があります。が、避難所のパネルを展示していた関係上質問も避難所関係でしたね？
- ・相模原市の関係者は避難所運営の準備を真剣に考えているようでした。参加者の多さからもうかがえます。
- ・ただ、まだまだ避難所に関して、経験、知識、運営のノウハウが今ひとつ備わっていないかな？
- ・横浜支部としては今後も要請があれば協力をして行きたいと思います。
- ・福祉避難所についての理解を深めようとする熱心さを感じました。
- ・日本防災会横浜支部は写真パネルコーナーを設け・防災士会の旗の下、研修者に対し災害ボランティアの活動、災害現場や避難所の状況説明を行ない、またソーラーパネルLEDランタンの取扱いや防災情報「女性の視点を活かした防災対策」のチラシ、歯みがきティッシュの配布は大変喜ばれました。
- ・3.11の東日本大震災は30年以内の地震発生確率は99%であると地震調査研究所推進本部で2011年1月1日に発表しているが、その2ヶ月後に発生している現実を考えると、首都直下地震など神奈川県下に及ぼす地震がいつ発生してもおかしくない状態にあることを我々は認識しておかなければいけない。
- ・神奈川県に被害が及ぶと想定されている地震は以下のとおりです
  1. 東海地震 2. 南関東地震 3. 神縄・国府津-松田断層帯の地震
  4. 南関東地震と神縄・国府津-松田断層帯の連動 5. 三浦半島断層群の地震 6. 東京湾北部地震
  7. 神奈川県西部地震 8. 神奈川県東部地震 9. 元禄型関東地震

（報告者 玉江牧雄）

## 支部長あいさつ

日本防災士会横浜支部会員の皆様には、本年も大変なご協力、ご指導を頂き微力ながらも地域の防災に参加し、我々防災士の活動の場を広げ各事業所などからも要請が入るようになってきました。これも一重に会員みなさま方のご協力の賜物と役員一同感謝いたしております。

本年は、玉江幹事の発案により、「会報」を発行することになりました。会員の皆様も会報に掲載する記事がありましたら・・・玉江幹事まで連絡してください。

来る平成28年におきましても、防災士会横浜支部と致しましても役員一同社会の変化に対応した事業計画を立案し皆様の防災力を昂揚したいと考えております。

会員の皆様・ご家族様のご健康・ご多幸をお祈りいたします。

日本防災士会横浜支部 支部長 今井淳